

難治性てんかん パーキンソン病 本態性振戦

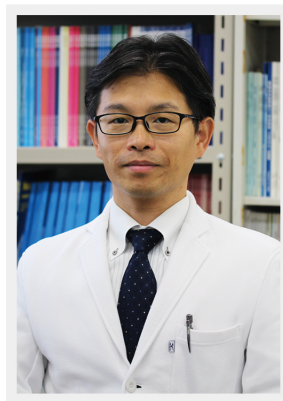
お悩みの患者さまへ

当科では専門外来を開設し、
患者さまのQOL向上のため積極的な外科治療を行なっています。

難 治性てんかん

てんかんは有病率が高い神経疾患であり、全年齢層での対応を要する疾患です。
薬剤治療が困難な例に対しては、手術治療が有効な病態が存在することも知られています。
当院では「大阪市立大学医学部附属病院てんかんセンター」と連携し、
各部門と協力しながら診断、治療、地域医療連携まで包括的な診療を行ってまいります。
手術治療としては、てんかん焦点切除術、海馬扁桃体摘出術、脳梁離断術、迷走神経刺激療法
などの各手法を用いて、患者さまの生活の質を上げる提案をさせていただきます。

(石切生喜病院非常勤医師) 大阪市立大学脳神経外科 宇田 武弘



パ ーキンソン病、本態性振戦

高齢化に伴いパーキンソン病の有病率は年々増加傾向にあります。
当科では脳神経内科と連携し、薬物治療と外科治療の二つの柱でパーキンソン病、本態性振戦
の患者さまやご家族のQOL向上を目指すべく日々治療にあたっております。
薬物治療単独では症状コントロールが困難な場合でも、
手術治療（脳深部刺激療法）により改善できる可能性があります。
また一方で、「手術治療の効果を最大限得られる適切な時期」が存在します。
ぜひ一度、専門外来の受診をご検討ください。

(石切生喜病院非常勤医師) 大阪市立大学脳神経外科 川嶋 俊幸



ご紹介

お問い合わせ

医療法人藤井会石切生喜病院

専門外来（難治性てんかん、パーキンソン病、本態性振戦）
第3週 水曜日 午前中（宇田、川嶋）

TEL:072-988-3284
(地域医療連携室)

FAX:072-988-3624
(診察予約申込書+紹介状)